2009年8月8日 東京新聞 朝刊

だるような暑さの中、49の代表校のほか、昨夏の覇者・早実の川西啓介主将が優勝旗を持って入場。念入りに優勝旗返還とレプリカの授与の段取りを確かめていた。

東東京代表の帝京は大会第三日の十日に駒大岩見沢（北北海道）と、西東京代表の創価は同第四日の十一日に愛工大名電（愛知）と対戦する。

（原昌志）

広島の惨状 伝え

文京で「原爆図」きょうから展示

原爆投下直後の広島の惨状を描いた連作「原爆の図」で知られる故丸木位里、俊夫妻の作品を展示する「原爆の図展」が八日から、文京シビックセンター（文京区春日）で開かれる。

区民らでつくる「原爆の図」を見る会・文京が一昨年から開いている。今回は、十五の作品から成る「原爆の図」のうち「第一部幽霊」＝写真＝の軸装レプリカを展示。被爆者が描いた作品八点も展示する。十一日午後二時からは原爆の図を舞踏で表現している和泉舞さんのパフォーマンスもある。

十一日まで。午前九時―午後六時（最終日は同五時まで）。入場無料。

文京区に差し戻しへ

都市計画変更案 区都計審「課題残る」

文京区の元町公園移転計画について、区都市計画審議会は六日、諮問されていた都市計画変更案について「検討すべき課題が残っている」などとして、区に差し戻すことを決めた。近く区長に答申する。歴史的文化財的価値が指摘され反論意見があった移転問題。区は計画の仕切り直しを迫られることになった。

区は老朽化した総合体育館を元町公園の敷地に移設するため、公園を隣接する旧元町小学校跡地に移す都市計画変更案を作り、昨年七月、区都計審に諮問。区都計審の委員の中でも意見が割れ、継続審議が続いていた。